



# ぎよさい「令和四年度事業実績」まとめ 加入実績は平成三十年以来の事業計画達成

五月十九日に開催された本年度の第一回理事会で、令和四年度事業報告および令和五年度事業計画の設定が審議され、六月十六日開催の通常総会議案として提出することが決まりました。

令和四年度決算に基づく加入実績は、共済金額で一千四百六十七億一千万円と、事業計画の一千四百五十億円を上回り達成することができました。前年度実績に対しては、主要

漁業の水揚低迷による補償水準（共済限度額）の下降等により、二億三千万円とわずかに減少しました。

前年度実績と比較しますと、漁獲共済は、2号漁業の漁船漁業で、小型合併の新規加入やほたて貝桁網で補償水準が上昇したことに加え、契約割合の引上げが図られました。

一方、支払実績は、共済金で六十億四千三百万円、無事故払戻金で九千四百万円となり、前年度の共済金

特定養殖共済では、こんぶ及びほたて貝等で休廃業や補償水準の下降があったものの、こんぶ等で契約割合の引上げが図られたこと等により、全体で五億二千万円増加しました。

また、漁業施設共済は、定置網でさけ定置の一部契約が脱落したこと等により五千円減少しました。

無事故払戻金をあわせた百九億八千八百万円と比較しますと、四十八億五千一百万円減少しました。

主な共済金は、さんま棒受網 十二億三千万円、秋さけ定置十一億七千万円、小型合併九億八千五百万円でした。

なお、全国の加入実績は共済金額で七千百十九億円、支払実績は共済金で二百八十八億円となっており、北海道は加入実績、支払実績ともに二十%程を占めています。

加入実績

金額単位：億円

区分	項目	計画	4年度	計画対比	前年度	
		共済金額 A	共済金額 A'	金額 A'/A	共済金額	
漁業共済	1号漁業	80.0	70.8	88%	73.9	
	2号漁業	漁船漁業	803.0	828.9	103	824.6
		定置漁業	353.0	357.8	101	365.4
		小計	1,156.0	1,186.7	102	1,190.0
	計	1,236.0	1,257.5	101	1,263.9	
	特定養殖共済	藻類	47.0	46.4	98	46.7
		貝類等	97.0	100.2	103	94.7
		計	144.0	146.6	101	141.4
	漁業施設共済	養殖施設	8.0	9.3	116	8.2
		定置網	57.0	48.7	85	50.3
計		65.0	58.0	89	58.5	
合計	1,445.0	1,462.1	101	1,463.8		
地域共済（休漁補償）		5.0	5.0	100	5.6	
総合計		1,450.0	1,467.1	101	1,469.4	
件数		8,235	7,591	92	7,582	

共済金支払実績

金額単位：億円

区分	項目	4年度	前年度	前年度増減	
		金額	金額	金額	
漁業共済	1号漁業	3.40	5.11	△ 1.71	
	2号漁業	さんま棒受網	12.34	22.30	△ 9.96
		小型合併	9.85	14.46	△ 4.61
		ほたて貝桁網	3.98	8.20	△ 4.22
		一般底びき網	2.63	4.74	△ 2.11
		いか釣り	1.93	1.40	0.53
	かに籠	1.64	1.48	0.16	
	すけとうだら刺し網	1.39	1.93	△ 0.54	
	上記以外の漁船	0.79	1.26	△ 0.47	
	漁船計	34.55	55.77	△ 21.22	
定置漁業	さけ大型定置（秋）	11.70	30.25	△ 18.55	
	小型定置	3.00	2.42	0.58	
	上記以外の定置	0.44	1.84	△ 1.40	
定置計	15.14	34.51	△ 19.37		
小計	49.69	90.28	△ 40.59		
計	53.09	95.39	△ 42.30		
特定養殖共済	藻類	4.05	1.64	2.41	
	ほたて貝等	2.11	11.35	△ 9.24	
	上記以外の養殖	0.38	0.04	0.34	
	貝類等計	2.49	11.39	△ 8.90	
計	6.54	13.03	△ 6.49		
漁業施設共済	養殖施設	0.43	0.11	0.32	
	定置網	0.37	0.26	0.11	
	計	0.80	0.37	0.43	
総合計	60.43	108.79	△ 48.36		
件数	2,369	2,764	△ 395		

無事故払戻金支払実績

金額単位：億円

区分	項目	4年度	前年度	前年度増減	
		金額	金額	金額	
漁業共済	1号漁業	-	-	-	
	2号漁業	漁船漁業	0.30	0.58	△ 0.28
		定置漁業	0.52	0.40	0.12
		小計	0.82	0.98	△ 0.16
計	0.82	0.98	△ 0.16		
特定養殖共済	藻類	0.11	0.06	0.05	
	貝類等	0.01	0.05	△ 0.04	
	計	0.12	0.11	0.01	
合計	0.94	1.09	△ 0.15		
件数	200	107	93		

# 積立ぶらす「令和四年度引受・払戻等の実績」まとまる

令和四年度の引受実績は、件数で四千六百八十二件、金額（漁業者積立申込金額）で九十一億二千九百万円となり、前年度より三件、金額で四億七千三百万円増加しました。

一方、払戻実績は、件数で二千七百五十八件、金額（漁業者・国の払戻補てん金合計）で百三十七億五千九百万円となり、前年度より四百七十三件、金額で五十四億三千五百万円減少しました。

ぎょさいの支払共済金と合わせますと百九十八億二百万円となり、前年度より百二億七千一百万円減少となりました。

なお、資源管理・漁場改善に取り組み漁業者に対する共済掛金の追加補助は、二十三億九千二百万円となり、前年度より五千五百万円減少しました。

## 積立ぶらす引受・払戻等の実績

### 1. 引受実績表

金額単位：億円

区分	項目	4年度A		前年度B		A-B		A/B (%)		
		件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	
漁獲共済	1号漁業	58	2.86	121	2.98	△ 63	△ 0.12	47	95	
	2号漁業	漁船漁業	2,210	22.87	2,129	22.28	81	0.59	103	102
		定置漁業	924	58.21	923	54.10	1	4.11	100	107
		小計	3,134	81.08	3,052	76.38	82	4.70	102	106
	計	3,192	83.94	3,173	79.36	19	4.58	100	105	
特定養殖共済	藻類	610	1.73	616	1.83	△ 6	△ 0.10	99	94	
	貝類等	880	5.62	890	5.37	△ 10	0.25	98	104	
	計	1,490	7.35	1,506	7.20	△ 16	0.15	98	102	
合計		4,682	91.29*	4,679	86.56	3	4.73	100	105	

金額は、漁業者積立申込金額である。

\*新型コロナウイルスの影響に伴う特例措置による積立免除金額2.43億円を含む。

### 2. 払戻実績表

金額単位：億円

区分	項目	4年度A		前年度B		A-B		A/B (%)		
		件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	
漁獲共済	1号漁業	100	4.66	104	8.90	△ 4	△ 4.24	96	52	
	2号漁業	漁船漁業	1,294	27.85	1,551	37.62	△ 257	△ 9.77	83	74
		定置漁業	509	94.06	658	127.27	△ 149	△ 33.21	77	73
		小計	1,803	121.91	2,209	164.89	△ 406	△ 42.98	81	73
	計	1,903	126.57	2,313	173.79	△ 410	△ 47.22	82	72	
特定養殖共済	藻類	416	4.95	221	2.27	195	2.68	188	218	
	貝類等	439	6.07	697	15.88	△ 258	△ 9.81	62	38	
	計	855	11.02	918	18.15	△ 63	△ 7.13	93	60	
合計		2,758	137.59*	3,231	191.94	△ 473	△ 54.35	85	71	

金額は、払戻補てん金（漁業者1：国3）の合計である。

\*新型コロナウイルスの影響に伴う特例措置による積立免除金額1.80億円を含む。

### 3. 共済掛金追加補助

金額単位：億円

区分	項目	4年度A		前年度B		A-B		A/B (%)	
		純掛金	追加補助	純掛金	追加補助	純掛金	追加補助	純掛金	追加補助
漁獲共済		67.61	22.03	68.63	22.77	△ 1.02	△ 0.74	98	96
特定養殖共済		7.44	1.89	6.88	1.70	0.56	0.19	108	111
合計		75.05	23.92	75.51	24.47	△ 0.46	△ 0.55	99	97

# 令和五年度の取組み

## 「ぎょさい・積立ぶらすの一層の浸透を」

平成二十三年度にスタートした「漁業収入安定対策」を活用し、未加入地域の主要漁業・養殖業の加入推進、継続契約の補償内容の充実に取り組んだ結果、国の政策目標である道内漁業生産の9割が「ぎょさい・積立ぶらす」に加入するところまで来ております。

本年度も引き続き「ぎょさい・積立ぶらす」の普遍的な加入と定着を目指し、漁業実態などの変化に則した継続契約の確保、漁協・系統団体・行政と連携した未加入漁業・養殖業への推進、定置漁具の加入拡大を重点推進事項とし、事業実施体制及び財務基盤の強化に取り組むと共に、漁業経営の後ろ盾として今後もその機能を十分に発揮出来るよう取り組んで参ります。

なお、本年度の加入計画は、共済金額を一千四百六十億円と定め、重点推進事項は次の三点と致します。

- ① 継続契約における補償内容の充実  
(積立ぶらすのセット加入)
  - ② 未加入地域における主要漁業・養殖業の解消
  - ③ 定置漁具(漁業施設共済)の加入拡大
- また、水産基本計画などに基づいた「ぎょさい制度を含む漁業収入安定対策の機能強化・法制化」の検討状況を注視して参ります。

引き続き、ご理解とご協力を賜ります様、お願い申し上げます。

令和5年度事業計画(案)

区分	項目	件数	共済限度額 又は 共済価額	共済金額	共 済 掛 金		
					純共済掛金	附加共済掛金	
		件	億円	億円	千円	千円	
漁業	1号漁業	68	75	67	391,000	57,000	
	2号漁業	漁船漁業	2,884	1,007	821	4,555,000	451,000
		定置漁業	741	410	366	2,631,000	264,000
		小計	3,625	1,417	1,187	7,186,000	715,000
	計	3,693	1,492	1,254	7,577,000	772,000	
共済	特定養殖共済						
	藻類	720	54	43	203,000	21,000	
	貝類等	968	202	100	592,000	86,000	
	計	1,688	256	143	795,000	107,000	
共済	漁業施設共済						
	養殖施設	2,471	17	9	33,000	5,000	
	定置網	369	93	49	125,000	44,000	
	計	2,840	110	58	158,000	49,000	
	合計	8,221	1,858	1,455	8,530,000	928,000	
	地域共済(休漁補償)	30	5	5	7,000	5,000	
	総合計	8,251	1,863	1,460	8,537,000	933,000	

漁獲共済の集団加入における件数は1集団1件、漁業施設共済の養殖施設における件数は幹縄1本当たり1件である。

「ぎよさい・積立ぶらす」の普及宣伝（PR）  
ポスターが変わりました！

ぎよさい  
積立ぶらす

安心

経営

